

沿岸海況の短期変動と漁況に関する研究

(県単 研究期間 平成20年～22年度)

担当：漁業開発部資源海洋研究室

【研究の背景とねらい】

- 沿岸域での短期的な海況変動の予測は、沿岸漁業の効率的な操業にとって重要な課題ですが、暖水の波及などは短期間で変化し十分なデータが得られないことから、その現象の解明や予測は難しく、実現していません。
- 新しく開発された「関東・東海海況速報」では高精度に黒潮流軸や水温のデータを日単位で取得することができ、このデータと数値モデルを活用して黒潮変動と暖水波及などの短期的な海況変動を把握します。
- さらに、海況の研究で得られた知見を基に、しらす船曳網漁場の変遷などの特徴的な漁況との関係を分析し、沿岸漁海況予測のための新たな手法を検討します。

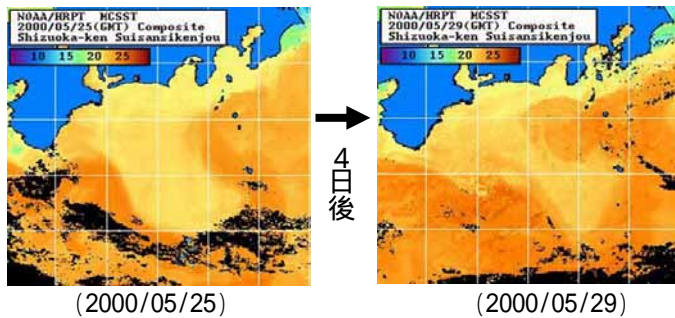


図 衛星画像でみる海況の短期変動。
4日間で黒潮の蛇行が変化し、静岡県の沖合には伊豆諸島北部海域から黒潮系の暖水が波及しました。

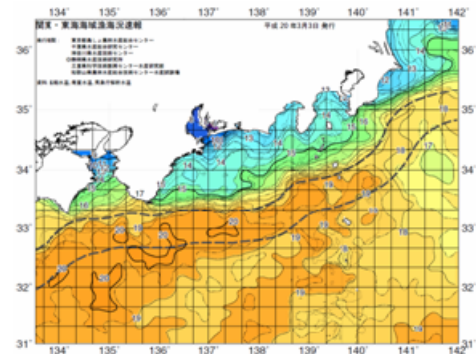


図 関東・東海海況速報(2008年3月3日)
高精度に日単位で水温の格子データや黒潮流軸位置を取得できます。

【期待される成果】

- 10～30日程度の時間スケールで、黒潮変動とそれに伴う沿岸への暖水波及を把握することができ、その結果は、しらす船曳網漁業などの短期漁海況予測技術の基礎となります。
- 将来的には、沿岸漁業の効率的な操業により経営の安定が図られます。

【年次計画】

細目課題	20年度	21年度	22年度
暖水波及による沿岸海況の短期変動解明	・暖水波及現象の発生状況把握	・暖水の伝播状況の解析	・暖水波及と駿河湾海況変動の関係解析
駿河湾の海況変化のモデル化	・適用モデルの検討	・モデルによる海況短期変動の再現	・モデルの検証と精度向上
シラス漁場の変動解明	・シラス漁場情報の整理		・海況短期変動と漁場変化の関係解明

(作成 平成20年4月)